



# 連合奈良 ジェンダー平等参画トップ宣言



ジェンダー平等参画は、連合の将来を左右する重要な取り組みです。連合がめざす「男女平等参画社会」を実現するために、トップのリーダーシップと組合員の参画のもと、組織の総力をあげて取り組みを進めていくことが重要です。連合奈良は、男女の人権が尊重され、ともに役割と責任を分かち合う社会を実現します！

2024年4月現在

自治労奈良県本部 執行委員長 桐木 正明



「ワーク・ライフ・シナジー」の視点に立ち、固定観念の払拭など社会全体の意識の変化を促し、男女が共に働きやすく暮らしやすい活力あることを目指して、取組推進していきます。

連合奈良 会長 水野 仁



格差や不条理を是正する「男女平等参画」と、真の多様性を認め合い、性別に関係なく誰もが活躍できる「ジェンダー平等社会」の実現を目指し、「連合奈良ジェンダー平等推進計画フェーズI」にもとづき、構成組織と一体となって活動を進めていきます。

UA ゼンセン奈良県支部 支部長 田中 あさ子



UA ゼンセンは、性別や働き方を問わず、多様な人が個性と能力を発揮でき、心豊かに生きていく持続可能な社会を目指しています。

私鉄労働組合奈良県連合会 事務局長 今西 宏



私鉄産業の運輸関連の職種では、まだまだ男性の比率が多くなっています。人口減少による生産年齢人口の減少による要員不足は、喫緊の課題です。就労時間が早朝から深夜に及ぶ業界であるため、子育てをおこなないながら、デイトタイムのみの勤務体系の構築に加え、女性用の各施設改善をおこない、全ての人が働きやすい職場環境を目指します。

電機連合奈良地方協議会 議長 田中 篤史



電機連合奈良地方協議会で設置する「男女平等推進委員会」を通じて、性別のみならず多様な国籍を持つメンバーとともに誰もが活躍できる取り組みを加速させます。

自動車連合奈良地方協議会 議長 鳥尾 将人



自動車業界では、まだまだ女性労働者が少ない状況にあります。女性活躍の場を増やしていく為、女性が取得するというイメージの強い育児・介護休業・時短勤務制度を男女ともに取得しやすい会社風土、職場環境づくりを行い、お互いが助け合える魅力ある業界を目指します。

JP 労組奈良連絡協議会 議長 本嶋 竜次



JP 労組運動において、ジェンダー平等を推進するため、JP 労組組合員が一丸となって学び、話し合い、行動します。

## 連合奈良「ジェンダー平等推進計画」フェーズI

運動目標 (スローガン)

「労働組合における男女平等参画

(性自認の尊重を含む)」と

「職場・社会における

ジェンダー平等の推進」

奈良県電力総連 会長 渡邊 茂



男女が共に参画・参加できる風土づくりや意識醸成に取り組むとともに、労働組合活動全般への女性組合員比率以上の女性の登用に向けて取り組みます。

教育連合奈良県協議会 議長 近藤 伸一



「人権問題の根本は『パターンリズム』だ」とされる日本で、人権が尊重され、全ての人々が生きやすい社会を目指して、今後とも積極的に活動していきます。

運輸労連奈良県連合会 副執行委員長 東川 美紀



女性が笑顔で益々輝いて活躍していけるよう、女性中心の勉強会や交流会を積極的に開催し、共に働きやすくなる環境を私たちの声で作っていきます!!

情報労連奈良県協議会 議長 岸本 洋一



あらゆる活動に「ジェンダー平等」の視点をおき、誰もが参加・参画できる組合活動を推進します。女性組合員比率に応じた意思決定の場への女性の参画機会を確保するとともに、女性役員の参画比率目標「30%」達成と多様な人材が活躍できる環境整備に取り組めます。

JR連合奈良県協議会 議長 山本 大輔



働き方の多様化を進め男女が共に認め合い一人一人を大切に明るい未来を築き上げよう。



## Change! = 達成目標

- 目標1 組合員の男女比率を毎年調査し、把握する。
- 目標2 女性役員を選出する。女性参画比率30%以上を確保
- 目標3 執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する。
- 目標4 運動方針に「『ジェンダー平等』の推進」と明記する。

国公総連近畿地区本部奈良県協議会 議長 巽 雅洋



男女平等にむけた社会の実現とともに、ワーク・ライフ・バランスの実現にむけて取り組みます。



## Challenge! = 推進目標

- 目標5 大会や地方委員会等の議決機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する。
- 目標6 「ジェンダー平等の推進」を目的とする委員会等の会議体を設置する。
- 目標7 多様な人たちが多様な形態で参加できるよう、従来の活動スタイルを点検し、必要な見直しを行う。

J R 総連奈良県協議会 議長 川端 浩治



私たちは働き甲斐のある、人間らしい生き方のできる社会の実現を目指し多様な仲間の結集と職場から労働組合運動の強化を図るために奮闘します。

北和地域協議会 議長 木寅 賢司



女性が働くうえで男女格差のない職場環境を構築することが大切であり、北和地域協議会は引き続き「男女平等参画社会」の実現のための運動を展開してまいります。

JAM 大阪奈良地区協議会 議長 松井 敦



JAM 大阪は常設委員会の「男女平等参画委員会」を設置し取組継続中です。現状、計画通りには進められていない状況ではありますが計画達成に向けて取組んでいきます。また男性、女性共に働き甲斐のある環境作りを目指し「男女平等参画社会」の実現を目指し取組んでいきます。

フード連合敷島製パン労働組合昭和支部 支部長 大前 順平



男女間賃金格差などの不平等をなくしていき、誰にとっても安心して働ける職場環境の実現に向けて活動していきます。

全労金近畿労働金庫労組 奈良支部 支部長 大森 健人



男女を問わず、誰もが働きやすく、多様性を尊重できるような職場を目指し、各課題に積極的に取り組んで参ります。

全国労済労働組合連合会関西支部 奈良分会 分会長 辻 崇



男女がともに働きやすく、暮らしやすい、多様性を認め合う社会に向けた取り組みを着実にすすめていきます。

西和地域協議会 議長 浦久保 幸治



多様な人たちが多様な形態で活動に参加できるよう、改善し尊厳と権利について平等な取り組みを実践します。

中和地域協議会 議長 笠谷 卓見



私が病院に就職した頃は医師は男性、看護師は女性という考えでしたが、現在は女性医師や男性看護師もいます。仕事によって男性・女性というアンコンシャス・バイアスをなくし、ジェンダー平等実現への取り組みを進めていきます。

南和地域協議会 議長 北川 崇誠



南和地協ではひとり一人の人間が性別に関係無く、輝ける社会を目指してまた、武力や暴力のないジェンダー平等社会を目指して地域から運動を進めていきます。

